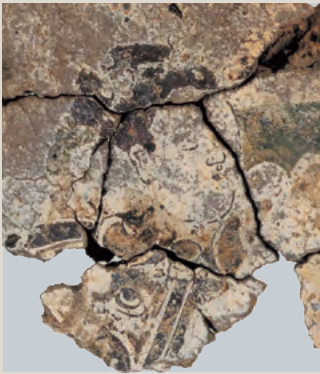


展示品の  
みどころ

やくしにょらいざぞう  
薬師如来坐像



へきがへんしんしょう  
壁画片「神将」  
上淀廃寺出土品

長22.0cm、幅12.0cm  
白鳳時代(7~8世紀)  
鳥取・米子市教育委員会

平成3年(1991年)、日本最古級の仏教壁画発見というニュースが全国に流れた。法隆寺金堂壁画に並ぶ貴重な古代絵画として、この「伏し目がちな神将」がテレビや新聞で大きく紹介されていた。「古代史ファン」歴の長い方なら一私もその一人であるが一ご記憶されているに違いない。

この壁画片は、鳥取県米子市、日本海を臨む古代寺院、上淀廃寺の金堂跡から出土したものである。創建は白鳳時代(7世紀後半)。伽藍は金堂一つに塔が三つ並ぶ(うち一つは心礎のみ)という特異なもので、本尊は粘土で作った如来像、特に奈良時代には丈六(1丈6尺/坐像で約2m40cm)の像を安置したと推測されている。

描かれた人物は、胸に甲を付け、髪を結った神将の姿である。伏し目がちに見えるのは、悲しんでいるのではなく、火災の熱によって瞳や上瞼の顔料が消滅し、ベンガラ朱で引かれた下瞼の線だけが残ったためである。本来は目をむくコワイ顔の神将であったはず。火災によって彩色の多くが失われ、絵の印象も変わってしまったが、逆に高熱が壁画を陶器のように焼き縮めたので、千年経った今でも姿は残った。災難が生んだ奇跡といえよう。

壁画の全貌を知るにはパズルのピースが足りないが、如来を中心に菩薩や僧、神将たちが集まる「説法図」や「浄土図」であったろうと想像されている。絵の中には、法隆寺金堂や高松塚古墳の壁画との共通性があるという。都から離れた伯耆国でも優れた画工が活躍していた証拠であり、白鳳美術の水準を示す貴重な品である。古代史ファンでなくとも、ぜひこの神将さんにお目にかかってほしい。

吉澤 悟 (当館学芸部列品室長)

重要文化財  
銅造 鍍金  
像高91.0cm  
白鳳時代(7~8世紀)  
千葉・龍角寺



江戸時代、元禄5年(1692)の火災で損傷し、頭部以外は失われ、現在の体部は元禄10年(1697)の本堂再建時に铸造して補われたと考えられる。頭部は、轆型一铸で、銅厚は薄く均等で、像内の铸肌も平滑である。

切れ長の目や、稜線の立った鼻筋など、白鳳時代の仏像の特徴が見られ、東京・深大寺釈迦如来倚像との共通点が指摘される。特に目を二重瞼に表し、目尻を側面まで長く表す点は、本像の際立った特徴である。また、眉や唇の輪郭の内側に沿って段差を表し、顔の輪郭を際立たせている点や、面長でふくよかな頬に、顎の括りを表す点は、薬師寺金堂薬師三尊像などと共通することも注目される。

龍角寺は、5世紀から7世紀末に及ぶ龍角寺古墳群に接して所在し、境内から、法起寺式の塔・金堂を持つ遺構や古瓦が出土している。この一帯は印波国(現在の千葉県印旛郡)の中心地域であり、同寺は印波国造の一族により創建されたと考えられる。出土瓦の編年からは、創建年代は650年から660年代と言われている。しかし、龍角寺の縁起類には同寺は和銅2年(709)の創建と伝え、铸造技術や造形的なレベルの高さから、制作時期についてはなお検討を要する。

頭部のみとはいえ、本像のような完成度の高い金銅仏が伝存している意義は、極めて大きい。

岩井 共二 (当館学芸部情報サービス室長)

◆7月18日~9月23日 特別展「白鳳 -花ひらく仏教美術-」にて展示

開館日時(7月~9月)

■開館時間 / 午前9時30分~午後5時  
※特別展「白鳳」会期中は午後6時まで、毎週金曜日と8月5日(水)~15日(土)は午後7時まで  
※入館は閉館の30分前まで

■休館日 / 毎週月曜日、7月21日(火)、9月24日(木)(7月20日、8月10日、9月21日は開館)

■特別無料開放のお知らせ  
~7月16日(木)、9月25日(金)~10月下旬の間は、次の施設を無料開放します。  
庭園・茶室・仏教美術研究センター・関野ホール(天候等により公開中止の場合あり)  
青銅器館

観覧料金 特別展「白鳳 -花ひらく仏教美術-」

	一般	高校・大学生	小・中学生
個人(当日)	1,500円	1,000円	500円
前売	1,300円	800円	300円
団体サマーレイト	1,200円	700円	300円

※団体は20名以上です。 ※前売券の販売は7月17日(金)まで。  
※障害者手帳をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料です。  
※サマーレイト券は、毎週金曜日と8月5日(水)~15日(土)の午後5時から入場できるチケットです。(当館観覧券売場のみで、午後5時から販売します)  
※青銅器館は無料です。  
※なら仏像館は、改修工事のため休館中です。



[交通案内] 近鉄奈良駅下車徒歩約15分。またはJR奈良駅・近鉄奈良駅から奈良交通「市内循環」バス「氷室神社・国立博物館」下車

※当館には駐車スペースがございませんので最寄りの県営駐車場等(有料)をご利用ください。

